

令和 6（2024）年度事業報告書

I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

(2) 概 況

ア 設立年月日

2001 年 2 月 14 日

イ 基本財産

金 52,363,000 円

ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及、啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査、研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民、事業者等との連携、支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携、支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況（2025 年 3 月 31 日現在）

(1) 役員等の数

理事長 1 人 専務理事 1 人 理事 9 人 監事 2 人 評議員 9 人

(2) 役員等名簿

ア 役員名簿

（敬称略・順不同）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	新川 達郎	同志社大学名誉教授
専務理事	辻 智之	公益財団法人国立京都国際会館総合戦略広報監
理 事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	高野 拓樹	京都光華女子大学教授 学長特別補佐
〃	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議会長
〃	橋本 直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所客員研究員

理 事	原 強	京都循環経済研究所所長
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
〃	細貝 拓也	京都市環境政策局地球温暖化対策室エネルギー政策部長
監 事	野村 克章	税理士
〃	水口 重忠	元京都市伏見区長

イ 評議員名簿

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	石川 紘嗣	公益財団法人京都青年会議所副理事長
〃	泉 真吾	株式会社京都銀行公務・地域連携部観光地域活性化室長
〃	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター教授
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所理事長
〃	南山 泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授
〃	村上 圭子	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー専務理事

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 55 回	2024 年 5 月 24 日	代表理事及び業務執行理事の職務状況について 議第 1 号 令和 5 年（2023 年）度事業報告書（案） 議第 2 号 令和 5 年度決算報告書（案） 議第 3 号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」（案）	承認 承認 承認
第 56 回	2024 年 6 月 11 日	<書面決議> 議第 1 号 理事長 1 名選定の件 議第 2 号 専務理事 1 名選定の件	承認 承認
第 57 回	2024 年 8 月 9 日	議第 1 号 京都市環境保全活動センター指定管理者申請における重点項目（骨子案）	承認
第 58 回	2024 年 8 月 10 日	<書面決議> 議第 1 号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認
第 59 回	2024 年 9 月 3 日	<書面決議> 議第 1 号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認

第 60 回	2025 年 3 月 24 日	報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務状況について 報第 1 号 令和 6 年度（4 月～1 月）事業報告 報第 2 号 釜山環境公団との協定について 報第 3 号 令和 6 年度決算見込 報第 4 号 事務局組織の改編について 議第 1 号 令和 6 年度補正予算書（案） 議第 2 号 令和 7 年（2025 年）度事業計画書（案） 議第 3 号 令和 7 年度予算書（案） 議第 4 号 評議員会の招集について（案）	承認 承認 承認 承認
--------------	--------------------	--	----------------------

(2) 評議員会

	開催日	審 議 事 項	結果
第 18 回	2024 年 5 月 20 日	<書面決議> 議第 1 号 評議員 2 名の選任	承認
第 19 回	2024 年 6 月 11 日	報告事項 令和 5 年（2023 年）度事業報告書 議第 1 号 令和 5 年度決算報告書（案） 議第 2 号 理事の選任について（案）	承認 承認

4 職員数（2025 年 3 月 31 日現在）

理 事 長	専 務 理 事	事 務 局										合 計
		事 務 局 長	経 営 改 革 監	次 長	室 長	課 長	室 長 補 佐	職 員	再 雇 用 職 員	非 常 勤 職 員	臨 時 職 員	
1	1	1	2	2	3(3)	4	5	13	1	5	9	44

※事務局長及び次長 2 人は室長事務取扱としている。（室長欄（ ）内が事務取扱）

I 公益目的事業

※ () 内 4 桁数字は協会事業番号

【1】環境保全活動拠点事業

1 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

- (1) 環境の保全に関する活動のための施設の提供(1111)
- (2) 環境の保全に関する資料及び装置の展示(1121)
- (3) 環境の保全に関する情報の収集及び提供(1131)
- (4) 環境副読本発行(1142)
- (5) ホームページ等による情報発信(1144)
- (6) 環境の保全に関する講座、研修等の開催(1145)
- (7) 環境保全促進のための研究、調査等(1146)
- (8) 環境ボランティアの育成(1147)
- (9) 環境保全活動に関わる人材の育成(1148)
- (10) 国内外の他都市との連携(1149)
- (11) 大学生の環境活動支援(1150)
- (12) アウトリーチ（センター外での実施）(1151)

2 さすてな京都（南部クリーンセンター環境学習施設）運營業務(2101) ※受託事業

【2】国際事業 ※JICA受託事業

草の根事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」(1202)

【3】地域環境活動支援事業 ※受託事業

- 1 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業(1301)
- 2 京都発脱炭素ライフスタイル推進に係るプロジェクト創出及び実証支援等業務
 - (1) 企業等連携プロジェクトの創出及び実証支援事業(1304)
 - (2) 市民ワークショップ等の開催(1305)
- 3 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業(1307)
- 4 京都0円ソーラープラットフォーム
 - (1) 住宅向け0円ソーラー(1503)
 - (2) 太陽光発電プラットフォーム事業(1504)
- 5 ごみ減量推進事業
 - (1) 普及啓発(1621)
 - (2) ごみ減量事業化(1622)
 - (3) 地域活動(1623)
 - (4) 2R型エコタウン構築事業(1624)

【4】講師派遣事業 ※自主事業

講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）(1401)

【5】調査・研究・開発・発信事業 ※自主事業

- 1 脱炭素の見える化(1309)
- 2 脱炭素先行地域・グリーン人材育成支援事業(1310)
- 3 バイオマス活用推進事業(1514)
- 4 きょうと環境活動応援事業(1521)
- 5 ごみ減量推進事業 会費等を活用した自主事業(1625)
- 6 京のアジェンダ21フォーラム事業
 - (1) 観光のエコ化の推進(1704)
 - (2) 会費等を活用した自主事業(1708)
 - (3) わきの山の利活用(1709)
- 7 その他調査・研究・開発・発信(1501)
 - (1) 学会等での発表、研究会・実行委員会等への参画
 - (2) サーキュラーエコノミーへ向けたエコシステム構築支援

Ⅱ 収益事業

- 貸会場運営事業(5101)

Ⅲ その他事業（相互扶助等事業）

- 機密書類リサイクル事業(6101)

I 公益目的事業

【1】環境保全活動拠点事業

環境保全活動拠点事業の効果測定を行うため、令和5年度に引き続き、以下の4つの指標を設定しました。

- 1 来館者アンケートにおいて「自宅や学校、職場、地域等で取り組みそうなことがあった」と回答された方の割合：95%
- 2 協会が実施する環境保全活動プログラムへの参加者数：9,600人
- 3 2のうち、センター外でのプログラムへの参加者数：3,600人
- 4 エコメイト、エコサポーター年度末登録者数：それぞれ68人、180人

1については、90%と僅かに目標値に及びませんでした。2については、11,497人と目標値を上回ることができました。3についても、3,610人と目標値を上回ることができました。4については、令和7年3月末現在で、エコメイトで73人、エコサポーターで179人の登録者数となり、目標値をほぼクリアしました。

1 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）指定管理業務

令和6年度合計の入館者数は、前年度を上回り103%となりました。

令和6年度（前年同期比）	令和5年度
81,680人（103%）	79,712人

※前年同期比は、小数点以下四捨五入

※令和6年度の開館日数：313日 令和5年度同開館日数：314日

（1）環境の保全に関する活動のための施設の提供(1111)

（2）環境の保全に関する資料及び装置の展示(1121)

ア 共同主催型企画展

市民・事業者等との共催で、環境保全活動のための企画展を14件実施しました。

また、昨年度に引き続き、立命館宇治高校IBコースのカリキュラムの中での取り組み（父島研修、ガーデニング、動物保護）の成果となる制作物を展示しました。

期間	タイトル（共催団体等）
3/15～5/8	「地球にe-coto チャレンジ in 深草 ～みんなでい～ことやってみよう！～」－謎解きダンボール迷路－ （伏見区役所深草支所／協力：株式会社トヨタ）
6/30～9/6	うみからの贈り物 （京都芸術工芸大学）
8/1～8/12	レイチェル・カーソン没後60年記念企画 パネル展示「レイチェル・カーソンの人と作品」（レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラム）
8/1～9/11	世界のマンホールと下水道（JICA 関西）
8/14～8/28	京都環境賞受賞者の活動紹介パネル展（京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課）

9/18～10/1	中立えこミニ通信の展示（中立エコ生活推進会議）
10/1～10/30	京都のステキな木の空間（京都市ウッド・チェンジアクション推進会議、京都市産業観光局農林振興室林業振興課）
10/7～10/21	毎年10月は「食品ロス削減月間」です ～食べ物の「もったいない」を減らそう！～（近畿農政局）
12/7～1/19	「どうぶつモビール」と再生環境カレンダー原画展＜絶滅危機の動物たち＞（株式会社ファインワークス／協力：JEE Kyoto）
1/12～3/12	OUR HANDS OUR EARTH（立命館宇治高校 IB コース）
2/1～2/28	口元から利用資源を考える《京都大学 竹箸プロジェクト》 （京都大学 竹箸プロジェクト、京都大学大学院 地球環境学堂）
2/8～3/31	未来を繋ぐ Green Tomorrow Café（GTC） （龍谷大学社会学部伏見まちづくりプロジェクト）
2/24～3/9	いけばな街道（NPO 法人 フラワー・サイコロジー協会）
3/28～5/7	「第2回 e-coto チャレンジ in 深草 ～地球にい～ことやってみよう！～」－謎解きダンボール迷路－ （伏見区役所深草支所／協力：株式会社トヨタ）

・上記の共同主催型企画展の関連イベント・セミナー

開催日	タイトル（共催団体等）	参加人数
8/3、 8/10	「レイチェル・カーソンの人と作品」の解説 （レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラム）	18 人
8/3	～捨てるのはちょっと待って～親子で挑戦！廃油でリユース工作（JICA 関西）	45 人
8/10	「センス・オブ・ワンダー」を言葉にする！ （レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラム）	6 人
9/7	～JICA 海外協力隊に聞く～世界のマンホールと下水道 （JICA 関西）	16 人
1/19	ゴミック 1,000 作目記念「環境マンガ家・ハイムーン先生と語り学ぼう」（株式会社ファインワークス／協力：JEE Kyoto）	44 人
2/8	未来を繋ぐ Green Tomorrow Café（GTC） （龍谷大学社会学部伏見まちづくりプロジェクト）	24 人
2/23	あなたのお箸は何製ですか？～学食から始める脱プラスチック～（京都大学 竹箸プロジェクト、京都大学大学院 地球環境学堂）	16 人
3/1～ 3/22	生ごみコンポスト相談会 ※回数：2回 （伏見区役所深草支所／協力：桃山エコ推進委員会）	15 人
3/8	いけばな街道・YouTube 配信 （NPO 法人 フラワー・サイコロジー協会、日本いけばな療法学会）	オンライン： 10 人、 オンデマンド： 54 人

3 / 9	廃ダンボールと絵の具で思いっきり遊ぼう！ (伏見区役所深草支所、ぷっくりん／協力：株式会社トヨダ) ※回数：3回	58 人
3 / 9	いけばな街道・ワークショップ (NPO 法人 フラワー・サイコロジー協会)	19 人
3 / 23	自分だけのアクリルストラップづくり (伏見区役所深草支所、龍谷大学 Loop Up) ※回数：3回	63 人

イ 巡回展示・移動展示ユニット貸出し件数

期間	実施場所
5 / 29～7 / 1	京都市伏見区役所醍醐支所
7 / 16～8 / 19	イズミヤ六地藏店
8 / 26～9 / 29	横大路子ども園①
9 / 29～10 / 30	横大路子ども園②
9 / 29～11 / 1	京都市資源循環推進課
11 / 15～11 / 19	久御山町栄 3.4 丁目自治会及びシニアクラブ
12 / 16～2 / 18	イズミヤ六地藏店
2 / 3～2 / 28	京都市役所地下通路
3 / 8～4 / 22	練馬区四季の香ローズガーデン

ウ 「エコセン通い帳」(※1)の参加人数

参加人数	「エコの達人認定証」(※2)の発行数
1,951 人	85 枚

※1：当センターに繰り返し来館することを促進するもの

※2：「エコセン通い帳」に10回参加した方を表彰するもの

エ 「木のおもちゃひろば」の利用数

利用組数	利用者数
4,122 組	11,130 人

オ エントランス貸出ツールBOX「ちきゅまるのはこ」の利用数

利用組数	利用者数
1,319 組	3,410 人

カ アンケート

令和6年度は、429件の回答を得ました。

- 来館回数についての設問

有効回答	初めて	2回目以上	3回目以上
398 件	118 件 (30%)	280 件 (70%)	236 件 (59%)

- 今後の来館意向についての設問

有効回答	また来館したい
374 件	333 件 (89%)

・来館目的についての設問

有効回答 (複数選択可)	展示の見学	青少年科学センターの前後	たまたま来館
574 件	117 件 (20%)	116 件 (20%)	92 件 (16%)

・来館者の居住地についての設問

有効回答	京都市内	京都府 (※)	他府県 (※)
398 件	260 件 (65%)	71 件 (18%)	67 件 (17%)

※京都府内および他府県にお住まいの方の来館のきっかけは、「ホームページを見て」が1/3以上を占め、その他、「チラシを見て」、「知人からの紹介」が上位に挙がっています。

(3) 環境の保全に関する情報の収集及び提供(1131)

団体見学、京都市立小学校向けのエコ学習の実績は、以下のとおりです。

また、6月に団体見学に来られた城陽市立寺田西小学校から、来館した小学生が自身の学びをまとめ、作ったパンフレットについての掲示依頼があったため、児童約50人分のパンフレットを10月～12月にかけて設置しました。

その他、出前講座やオンラインによる学習を、小学校2校(合計64人)、中学校1校(6人)で実施しました。

ア 団体見学

団体数	参加人数
130校	3,463人

イ 京都市立小学校向けのエコ学習

団体数	参加人数
65校	1,272人

ウ その他

当センター隣の藤森中学校2年生(全7クラス)の保育実習(技術・家庭科)の場として、当センターの施設ならびにツール(木琴ベンチ、木のおもちゃなど)を提供しました。

藤森中学校の生徒には、事前に、当センターの職員が各クラス40分ずつ、“環境学習”(当センターの展示・ツールについて、環境問題と暮らしのつながりについて)を実施しました。

そのうえで、下記のとおり幼稚園・保育園の園児を当センターに招き、藤森中学校の生徒自身が、“環境学習”で学んだことを取り入れた保育実習を行いました。

	日付	藤森中学校	幼稚園等	児童数
1	12/9	33人	青風幼稚園	36人
2	12/11	34人	西院保育園	40人
3	12/13	29人	伏見南浜幼稚園	21人
4	12/16	34人	竹田幼稚園	26人
5	12/17	33人	深草保育園	33人

6	12/18	32人	錦林保育園	13人
			伏見いろどり保育園	4人
7	12/20	30人	改進黨育所	26人
—	合計	225人	—	199人

(4) 環境副読本発行(1142)

令和7年度より京都市内の中学校で使用されている教科書が更新されることを考慮し、中学生用の環境副読本については、令和7年度に大幅な改訂を実施します。現在は、令和7年度の改訂に向けて各関係機関との協議を進めています。

令和6年度については、各環境副読本（小学4年生用、小学5・6年生用、中学生用）の軽微な更新を行い、京都市内の小中学校への配布を行いました。

- ・小学4年生用 : 12,500部
- ・小学5・6年生用 : 12,500部
- ・中学生用 : 13,500部

(5) ホームページ等による情報発信(1144)

イベント案内チラシを、以下のとおり作成し、配布・配架しました。

その他、「市民しんぶん」や「あつまれ！京わくわくのトビラ」などの外部のイベント情報媒体等にもイベント情報や企画展情報などを掲載しました。

当センターホームページに設置しているフォームより他団体主催のイベント情報を受け付け、それらも当センターのホームページにて情報発信しました。

また、ブログ、Facebook、X、メールマガジンにより、環境啓発に関する発信を強化しています。

この他、以下の放送媒体からの取材を受け、企画展やイベントについての放送がなされました。

- ・1/21、KBS 京都ラジオ「桂りょうばのま〜ぶる！火曜日」のラジオカーリポート
※生放送、京エコロジーセンターの施設・企画展・イベント
- ・3/22、JCOM 株式会社「ジモトトピックス」、イベント「廃ダンボールと絵の具で思いっきり遊ぼう！」

(6) 環境の保全に関する講座、研修等の開催(1145)

子どもから大人までを対象としたイベント、講座等を開催しました。

ア イベント、講座

以下のとおり、イベント、講座を12件開催しました。

なお、12/15のイベントは、インターンシップの大学生が企画して実施しました。

開催日	プログラム名	講師	参加人数
4/21	ちきゅまるグリーティング	—	36人
4/21	映画『Wende（ヴェンデ）2 未来へのアプローチ』上映&監督トークイベント	監督・高垣博也氏	39人
7/31	エコの学校「カレットアート」	宝酒造株式会社	39人

8/17	メキシコの伝統工芸品【アレブリヘ】を作ろう！	JICA関西	18人
8/21	第27回国際昆虫学会議関連特別企画① 「昆虫を観察して、標本をつくろう！」	さすてな京都 京都市青少年科学センター	36人
8/22	第27回国際昆虫学会議関連特別企画② 「アリジゴクの生態を学ぼう」	京都市青少年科学センター	21人
9/7	～JICA 海外協力隊に聞く～世界の水事情	JICA 関西	16人
11/2	ぬり絵カフェ「べしからふる絵の具」で楽しもう！※回数：2回	合同会社ラピス プライベート	23人
12/15	京野菜とおかしづくりのいいじかん	YONkitchen	6人
1/26	絞り染めで、マイ・ハンカチをつくろう！ ※回数：2回	京鹿の子絞振興 協同組合 共催：(公財) 京都伝統産業交流センター	35人
2/11	エシカルチョコレートを創ろう ※回数：2回	消費者市民教育 研究会	41人
2/16	手前味噌を作ってみよう～！	生活クラブ京都 エル・コープ	19人

イ ちきゅまるひろば

「ちきゅまるひろば」（来館者の多い日曜日のイベントを増やす目的の、当センターの職員等によるオリジナルイベント）は、合計22回実施しました。

なお、9/1、9/15、10/20 および 11/17 は、インターンシップの大学生が企画して実施しました。

開催日	プログラム名	主なテーマ	参加人数	回数
5/5	トイレットペーパーの芯でこいのぼりを作ろう！	リユース	42人	2回
6/16	雨のおえかき	自然への関心	16人	2回
7/21	コンセントの向こう側	エネルギー	33人	2回
9/1	エコかざぐるまを作ってみよう！	エネルギー	19人	4回
9/15	旬の食べ物間違い探し	エコな生活	8人	2回
10/20	環境に優しい農業って何？	エコな生活	16人	2回
11/17	グリーンコンシューマーになろう ～みんなでエコラベル探し～	グリーンコンシューマー	12人	2回
1/19	エコミックぬりえで環境について考えよう！	環境問題	11人	2回
2/16	屋上の稲で、わら遊び！	自然への関心	52人	2回

3 / 9	エコ～ありがとう木をつくろう！	エコな生活	24 人	2 回
-------	-----------------	-------	------	-----

ウ エコそらキッズ

「エコそらキッズ」（自然と暮らしのつながりを学ぶ、小学1年生から4年生とその保護者が対象の連続プログラム）を、全8回実施しました。

第8回は、全体を2グループに分けて、同じ内容を2つの日程で実施しました。また、稲の成長具合から、稲刈りは別途臨時の開催日を設け実施しました。

サポート要員の大学生ボランティアは、合計5名を受け入れました。

－	開催日	主な活動内容	参加人数
第1回	5/18	ガイダンス、夏野菜の種まき・植付け	35 人
第2回	6/15	田植え、夏野菜の種まき・植付け	38 人
第3回	7/27	生きものの観察・畑の手入れ	33 人
第4回	9/7	冬野菜の種まき	41 人
第5回	9/21	藍染め	41 人
臨時	10/12	稲刈り	32 人
第6回	10/26	脱穀と粃摺り	31 人
第7回	11/16	ポスター作り（活動のまとめ）、発表	31 人
第8回	12/7	餅つき、クッキング	21 人
	12/14	餅つき、クッキング	22 人

（7） 環境保全促進のための研究、調査等(1146)

京都市と連携して推進している「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050 京創ミーティング～」におけるプロジェクトにおいて、その拡大と新たな事業者等と連携を促す「2050 京創プラットフォーム（仮）」の創設について調整を行いました。また、その際に示すソーシャルインパクト等についてまとめるため、プロジェクトオーナーへのインタビュー調査を7回行いました。

11月12日に大阪で開催された「関西脱炭素フォーラム」の展示ブースに出展し、取組内容の紹介や参加者との交流を行いました。

1月には、これまでの取組の成果を発表するとともに、衣食住の「住」に焦点を当て、住まいの断熱化や省エネ住宅をテーマにしたトークイベントを開催し、3月には第7回推進チーム会議を開催しました。

開催日	行事名	場所
1/23	2050 京創ミーティング OPEN DAY	QUESTION
3/28	第7回推進チーム会議	京都市役所

また、令和6年度から7年度にかけて、京都市における太陽光発電の普及拡大につながる方策について、京都市や市民、事業者等へ広く提案するため、現状や課題、国内外の知見や事例等を調査し、対策を立案するための研究を行っています。

(8) 環境ボランティアの育成(1147)

ボランティア同士の交流を深めるため、マネジメントの会は対面のみで実施しました。各種研修やグループ活動等は、対面を基本としつつも、対面とオンラインのハイブリッドで実施しました。ボランティア研修は、全6回を対面及びオンラインで実施しました。また、インターン生の企画によるボランティア研修を1回、職員によるボランティア研修を1回、合計2回の臨時研修を行いました。

22期として活動していた34名のボランティアが、3年間の任期を終えてエコメイト活動を修了し、そのうち23名が京エコサポーターとして登録されました。

エコメイト養成講座には、37名の申込者のうち32名が参加し、最終的に25名がボランティア登録を行いました。登録を行った方々は、4月よりエコメイト25期として活動を開始します。

環境ボランティアによる自主的な活動として、登録グループ「エコエネグループ」と「イベントグループ」が、第19回『科博連 サイエンス フェスティバル』に出展しました。それぞれ「ソーラークワガタでサッカーゲーム 2025」と「自然エネルギー発電体験教室」のブースを担当し、多くの来場者に環境の大切さや再生可能エネルギーについて伝えました。

また、エコメイト活動の達成目標を明確にして、エコメイトとして活動する3年間で必要な知識やスキルを確実に身に付けられるよう、制度の名前を「エコセンステップアップ」とし、R7年度（エコメイト25期）から新設することとなりました。「エコセンステップアップ」では、京エコサポーターの研修内容についても検討し、エコメイト・京エコサポーター活動の活発化により、地域における環境活動の活発化にも繋がることを目指します。

◇マネジメントの会

開催日	タイトル	対象	参加人数
4/7	登録証授与式	エコメイト24期	29人
4/7	スタートアップの会	エコメイト	36人
5/18	グループ活動・サポート活動説明会&報告会	エコメイト 京エコサポーター	36人
9/8	館長のお話	エコメイト 京エコサポーター	23人
9/8	中間ふりかえりの会	エコメイト	19人
10/20	エコセンボランティアミーティング	エコメイト 京エコサポーター	17人
3/16	年間ふりかえりの会	エコメイト 京エコサポーター (主たる対象はエコメイト22期)	33人
3/16	修了証授与式	エコメイト 京エコサポーター	28人

◇各種研修

開催日	タイトル	参加人数
4/27	ボランティア研修①「ボランティア活動」	32人

5/24	プログラム実践「小4エコ学習/ごみへらし隊」	17 人
6/16	ボランティア研修②「電気」	38 人 (来館 31 人、オンライン 7 人)
7/17	通い帳実践	21 人
7/28	ボランティア研修③「ごみ」	39 人 (来館 32 人、オンライン 7 人)
8/7	ガイド実践（施設）	28 人
9/28	展示解説実践（プログラム企画）	14 人
9/29	展示解説実践（プログラム企画）	13 人
10/9	プログラム実践 「小5エコ学習/地球温暖化ふせぎ隊」	12 人
11/19	ボランティア研修④「くらし」	30 人
11/24	ボランティア研修（臨時）（インターン企画）「家電」	22 人
12/8	ボランティア研修⑤「水」	30 人 (来館 20 人、オンライン 10 人)
2/1	ボランティア研修⑥「COP29・地球温暖化最新情報」	43 人 (来館 30 人、オンライン 13 人)
3/29	ボランティア研修（臨時） 「海外における環境教育の事例について学ぼう！」	15 人

◇ボランティアによる自主企画イベント

※1 登録グループ：長期的なミッション達成のため年間計画を基に通年で活動

※2 ワーキンググループ：単発のイベントや行事等の実施を目的に活動

開催日	タイトル	実施グループ名	参加人数
4/13	家庭の省エネ相談所	※2 ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	13 人
4/29	絵本の読み聞かせ	※1 登録グループ 「図書グループ」	26 人
5/4	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	53 人
5/6	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	47 人
5/12	虹色エコ虫を探そう！	登録グループ 「洛楽ガイド」	55 人
5/19	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	13 人
6/2	冷蔵庫からしなびた野菜が出てきた ことはないですか？	登録グループ 「Save Food」	21 人
6/8	プラごみ分別ゲーム～プラスチック ごみの出し方が変わりました！～	登録グループ 「イベントグループ」	62 人

6 / 9	虹色エコ虫を探そう！	登録グループ 「洛楽ガイド」	96 人
6 / 16	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	9 人
6 / 19	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	14 人
7 / 21	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	12 人
7 / 21、 23、27、 28、29、30	夏休み絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	169 人
7 / 25	エコセン☆夏休みワクワクひろば 自然エネルギー発電体験	登録グループ 「イベントグループ」	54 人
8 / 1、2、 7、9	夏休み絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	59 人
8 / 3	エコセン☆夏休みワクワクひろば リユース工作	登録グループ 「イベントグループ」	32 人
8 / 4	マイ風力発電機を作ろう！	登録グループ 「エコエネグループ」	21 人
8 / 11	エコセン☆夏休みワクワクひろば 旬当てクイズ	登録グループ 「イベントグループ」	91 人
8 / 12	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	17 人
8 / 17	イベント「夏休み！エコドリル探検 隊」	登録グループ 「洛楽ガイド」	29 人
8 / 18	イベント「夏休み！エコドリル探検 隊」	登録グループ 「洛楽ガイド」	43 人
8 / 18	家庭のごみ減量診断	ワーキンググループ 「家庭のごみ減量診断」	28 人
8 / 21	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	6 人
8 / 24	エコセン☆夏休みワクワクひろば 雑がみ分別ゲーム	登録グループ 「イベントグループ」	41 人
9 / 15	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	13 人
9 / 18	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	4 人
10 / 13	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	17 人
10 / 16	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	4 人

11/9、10	科学の祭典 ソーラークワガタでサッカーゲーム 2024	登録グループ 「エコエネグループ」	446 人
11/17	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	17 人
12/1	冷蔵庫からしなびた野菜が出てきたことはないですか？	登録グループ 「Save Food」	34 人
12/18	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	3 人
12/21	エコセン☆冬のワクワクひろば①	登録グループ 「イベントグループ」	50 人
12/22	フードドライブ in エコセン ご自宅で眠っている食品はありませんか	登録グループ 「Save Food」	2 人
12/22	太陽光発電の『マイ♡ランタン』を作ろう！	登録グループ 「エコエネグループ」	14 人
1/12	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	15 人
1/13	エコセン☆冬のワクワクひろば①	登録グループ 「イベントグループ」	96 人
2/2	第 19 回「科博連サイエンスフェスティバル」)	登録グループ 「エコエネグループ」	158 人
2/2	第 19 回「科博連サイエンスフェスティバル」)	登録グループ 「イベントグループ」	220 人
2/16	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭の省エネ診断」	20 人
2/19	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	6 人
2/22	家庭の省エネ相談所	ワーキンググループ 「家庭のごみ減量診断」	17 人
3/19	絵本の読み聞かせ	登録グループ 「図書グループ」	10 人

◇ボランティアによる自主企画展示

開催期間	タイトル	実施グループ名
4/23～5/12	ボランティア推薦図書特別展示 子どもの読書週間絵本&POP 展	登録グループ 「図書グループ」
7/9～8/26	ボランティア推薦図書特別展示 絵本&POP 展	登録グループ 「図書グループ」
10/8～12/2	ボランティア推薦図書特別展示 Book & POP 展	登録グループ 「図書グループ」

◇エコメイト養成講座

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	1/25	京エコロジーセンター・ボランティア きほんのき	27
第2回	1/26～ 2/8	環境問題 きほんのき ※オンライン講座	27 人 170 回 (視聴可能※)
第3回	2/9	展示・コミュニケーション きほんのき	26 人
第4回	2/12	実習オリエンテーション	11 人
	2/15		17 人
	2/13～ 3/1	実習期間	46 人
第5回	3/2	これまでの講座のふりかえり&登録説明会	26 人

※エコメイト養成講座参加者のみ視聴可能

(9) 環境保全活動に関わる人材の育成(1148)

連続講座として、地域で自然エネルギー導入を実践することを目指す人を対象に「自然エネルギー学校・京都2024」を6月～9月の期間、対面とオンラインのハイブリッドで実施しました。

「自然エネルギー学校・京都2024」では、元受講者の方が講師として事例発表を行うなど、実践的な人材の育成に繋げることができています。また、オンラインで講座を通して全国から参加者が集まることもあり、自然エネルギー学校での取組が全国的な活動に発展することを期待しています。

また、地域等で活躍できる人材を発掘・養成することを目的とした「環境活動パワーアップ講座2024」を10月～12月の期間で実施しました。

環境活動パワーアップ講座2024では、受講生同士が継続的に学び合い、つながりを保てるよう、受講者向けのメーリングリストを作成しています。講座終了後も情報交換や活動報告ができるようにすることで、受講生のネットワーク強化に繋げています。

◇自然エネルギー学校・京都 2024

脱炭素社会の担い手になろう～家庭・交通・地域～

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	6/22	自然エネルギーの最新動向を知ろう！	105 人 (対面15人、オンライン90人)
第2回	7/20	家庭の脱炭素化を広げよう！	72 人 (対面12人、オンライン60人)
第4回	9/14	脱炭素化に向けた地域活動に参画しよう！	74 人 (対面9人、オンライン65人)
第3回 ※	9/28	EVによる脱炭素化を広げよう！	62 人 (対面10人、オンライン52人)

第5回	10/19	自然エネルギー施設を見学しよう！	8人 (対面のみ)
-----	-------	------------------	--------------

※第3回（8/31 予定）の開催は台風の影響により9/28に延期して実施

◇環境活動パワーアップ講座 2024

活動を魅せる力を身につける

	開催日	タイトル	参加人数
第1回	10/26	仲間と出会い、自分の思いを文字や言葉で表現する	7人
第2回	11/9	アクティビティを体験してみよう	7人
第3回	11/23	環境活動を知ろう いろいろな立場の人とつながろう	6人
第4回	12/7	環境活動の広報って何？実践！活動を広報してみよう	2人
	12/8	今日からスタート！活動を伝え、多くの人に呼びかけよう	4人

◇環境ボランティアによる地域での活動

開催日	実施場所・イベント名等	環境ボランティア 参加人数
5/3～5/4	梅小路公園「梅小路公園グリーンフェア 2024 春」	12人
5/11～5/12	岡崎公園「アースデイ in 京都 2024」	12人
6/1～6/2	さすてな京都「あじさい大満喫 DAY」	21人
7/27	村山公園「上鳥羽夏の夜市」	1人
7/28	元今熊野小学校「今熊野夏まつり」	2人
8/3	こどもみらい館「遊んで学ぼう！身近なエコ」	6人
8/3	竹間公園「竹間夏まつり」	3人
8/3	新町小学校「中立ふれあい広場」	1人
8/24	本能芝生グラウンド「本能こどもまつり」	1人
9/28～29	京都府立植物園「きょうと☆いきものフェス！2024」	11人
10/5～10/6	梅小路公園「梅小路公園グリーンフェア 2024 秋」	12人
11/3	宝が池公園「どんぐり祭」	4人
11/9～11/10	イオンモール KYOTO「超 ECO 祭」	8人
11/23	深草小学校「第16回ふかくさ100円商店街」	3人

(10) 国内外の他都市との連携(1149)

国内外で活動する環境団体等の連携・交流につながるような国際的な取組の推進に向け、各団体や大学等の研究者や実践者についての情報を収集し、イベント等を通じて発信しています。また、実際に海外の環境問題や文化に触れられる企画を京エコロジーセンターにおいて実施することで、世界の環境問題の現状を来館者に伝え、国際理解の推進につなげています。

国内外で活動する環境団体等の連携・交流につながるような国際的な取組の推進に向け、各団体や大学等の研究者や実践者についての情報を収集し、実施可能な取組について引き続き検討しています。

◇海外とのMOU締結に基づく交流

韓日環境教育国際フォーラムへの参加および環境教育実践団体への訪問

6月4日に、韓国環境活動団体、企業、大学が参加した2024年韓日環境教育国際フォーラムに参加し、「京エコロジーセンターにおける環境教育の実践」というテーマで発表を行いました。参加人数は約100人です。

また、訪韓に併せて、以下の韓国環境教育実践団体を訪問し、交流を行いました。

- ①クロツラヘラサギエコセンター (Black-faced Spoonbill ECO Center)
- ②社団法人 自然の友研究所 (Eco buddy Institute)
- ③孟山エコセンター (MaengSan Eco Center)
- ④板橋環境生態学学習センター (PANGYO ECO-CENTER)
- ⑤(社) 環境教育センター (KOREA ENVIRONMENTAL EDUCATION CENTER)

イスカンダル地域開発庁 (IRDA)、ジョホールバル市 (MBJB)、およびKEAAでの協力覚書 (MOC) 締結による東南アジアにおける環境学習施設を中心とした環境保全活動普及のための支援

2021年10月から2025年1月までマレーシアで実施してきたJICA草の根技術協力事業の成果を活かし、事業終了後もIRDA、MBJBと協力して、東南アジアの都市に対し環境学習施設を中心とした環境保全活動推進のための支援活動を継続して実施するため、IRDA、MBJB、KEAAの3者による協力覚書 (MOC) 締結のための準備を行いました。2025年6月頃に締結する予定です。

釜山環境公団との覚書 (MOU) の締結

釜山市傘下の公企業である釜山環境公団 (BECO/Busan Environmental Corporation) からの申し入れを受けて、当団体との協力覚書 (MOU) を、11月19日に締結しました。今後、具体的な協力内容を協議していきます。

なお、当団体の当初の設立目的は下水・廃棄物処理施設の運営であり、現在は、環境教育を目的とした事業も開始しています。

◇企画展 (再掲)

開催期間	タイトル (共催団体等)
8/1～9/11	「～JICA 海外協力隊に聞く～世界のマンホールと下水道」(JICA 関西)

◇イベント (再掲)

開催日	タイトル	講師	参加人数
6/15	「料理 de 国際交流」	竹内絵里 (おちゃのま代表) 三谷香奈 (kokone 代表) Nuraini Naim (JICA 長期研修員)	20 人
8/3	「～捨てるのはちょっと待って～親子で挑戦! 廃油でリユース工作」	松本恵里佳 (PlaRial 代表)	45 人

8/17	「メキシコの伝統工芸品【アレブリヘ】を作るう！」	メキシコ人デザイナー マリアナ、セルヒオ、カルラ、アレ（JICA 研修員）	18 人
9/7	～JICA 海外協力隊に聞く ～世界の水事情	現（元）JICA 海外協力隊 木村咲稀、八木萌子、西村活人、 大釜正希	16 人

◇海外からの団体見学受入実績

日付	団体名	人数
4/16	国際教育交換協議会（CIEE 京都）	5 人
4/26	マレーシア・クチン北特別市一行	36 人
7/5	瑠璃合同会社（中国）	60 人
7/8	瑠璃合同会社（中国）	25 人
7/14	延安市宝塔区創新実験小	25 人
7/17	国際教育交換協議会（CIEE 京都）	20 人
8/26	南京農業大学農学院	34 人
9/4	日本環境衛生センター	9 人
11/12	台湾・逢甲（ホウコウ）大学	5 人
1/17	スワン高等学校	13 人
3/12	シンガポール工科デザイン大学	14 人

◇国際事業実績

日付	団体名	人数
通期	JICA 草の根事業「マレーシア国 ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト（地域活性化特別枠）」内における研修/プロジェクト研修員	-
7/1～ 7/10	JICA 草の根事業「ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト（地域活性化特別枠）」訪日研修	13 人
12/13～ 12/16	JICA 草の根事業「ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト（地域活性化特別枠）」訪日研修	6 人
12/15	JICA 草の根事業「ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト（地域活性化特別枠）」最終成果報告会 （於：キャンパスプラザ京都）	60 人

(11) 大学生の環境活動支援(1150)

大学生の環境活動支援を通じて、多様な連携や発信の場を設けました。2月には、龍谷大学の「サステナビリティ Days」への出展や、京都大学の「竹箸プロジェクト」との連携イベントの開催を通じ、大学生の環境活動を広く発信する機会を作ることができました。

さらに、企画展関連イベント「未来を繋ぐ Green Tomorrow Café (GTC)」を通じて、環境関連の活動を行う複数の大学の学生団体との交流を行い、それぞれの活動内容への理解を深めるとともに、ネットワークの構築・強化に繋がるよう支援を行いました。

また、京都文教大学、京都外国語大学からの依頼を受け、2025年度の短期インターンの受け入れに関する協定を結ぶなど、次年度以降に向けた新たな基盤づくりも進めることができました。

◇インターンの活動件数

月	日数	延べ人数
7月	9日	14人
8月	13日	16人
9月	17日	24人
10月	19日	34人
11月	17日	29人
12月	19日	29人

◇大学生への情報発信

開催日	実施場所・イベント名等	参加人数
6/18	京都産業大学「ボランティアフェスタ 2024」	15人
9/23	龍谷大学「サステナビリティ Days」	124人
11/15	佛教大学「ボランティアフェスティバル 2024」	6人

◇大学生への環境活動支援

(相談対応)

日時	実施内容/参加者	参加人数
12/2	同志社大学 学生相談 (卒業論文執筆に係るヒアリング)	1人
12/3	同志社大学 学生相談 (卒業論文執筆に係る現場見学)	1人

(イベント) 再掲

日時	実施内容/参加者	参加人数
2/8	イベント「未来を繋ぐ Green Tomorrow Cafe (GTC)」	24人
2/23	イベント「あなたのお箸は何製ですか? ~学食から始める脱プラスチック~」	16人

(企画展) 再掲

日時	実施内容/参加者
2/1 ~ 2/28	企画展「口元から利用資源を考える《京都大学 竹箸プロジェクト》」
2/8 ~ 3/31	企画展「未来を繋ぐ Green Tomorrow Café (GTC)」

(12) アウトリーチ（センター外での実施）（1151）

これまで京エコロジーセンターで実施してきたプログラムや講座・セミナー・展示等をセンター外でも積極的に実施し、より広く環境に関する取組を広げていきます。

◇巡回展示・移動展示ユニット貸出し（再掲）

開催日	実施場所
5/29～7/1	京都市伏見区役所醍醐支所
7/16～8/19	イズミヤ六地藏店
8/26～9/29	横大路子ども園①
9/29～10/30	横大路子ども園②
9/29～11/1	京都市資源循環推進課
11/15～11/19	久御山町栄 3.4 丁目自治会及びシニアクラブ
12/16～2/18	イズミヤ六地藏店
2/3～2/28	京都市役所地下通路
3/8～4/22	練馬区四季の香ローズガーデン

◇出前講座（再掲）

開催日	実施場所	参加人数
6/12	西大路小学校	29 人
11/1	光徳小学校	35 人

◇情報発信（再掲）

開催日	実施場所・イベント名等	参加人数
5/3～5/4	梅小路公園「梅小路公園グリーンフェア 2024 春」	269 人
5/11～5/12	岡崎公園「アースデイ in 京都 2024」	434 人
6/18	京都産業大学「ボランティアフェスタ 2024」	15 人
7/26	キャンパスプラザ京都「京都消費者教育シンポジウム 2024」	44 人
9/23	龍谷大学「サステナビリティ Days」	124 人
9/28～9/29	京都府立植物園「きょうと☆いきものフェス！2024」	560 人
10/5～10/6	梅小路公園「梅小路公園グリーンフェア 2024 秋」	106 人
11/3	宝が池公園「どんぐり祭」	161 人
11/9～11/10	イオンモール KYOTO「超 ECO 祭」	296 人
11/9～11/10	京エコロジーセンター「科学の祭典」	446 人
11/12	マイドーム大阪「関西脱炭素フォーラム」	—
11/15	佛教大学「ボランティアフェスティバル 2024」	6 人
11/23	深草小学校「第 16 回ふかくさ 100 円商店街」	330 人
12/15	キャンパスプラザ京都「JICA 草の根事業最終成果報告会」	60 人

◇館外イベント（再掲）

開催日	実施場所	参加人数
8/3	こどもみらい館「こどもエコみらい館」	63 人
11/17	ライフ四条烏丸「館外イベント「エコなお買い物〇×クイズ！」」	53 人

2 さすてな京都運營業務(2101) ※京都市委託事業

当協会と2社による連合体「さすてな京都運営コンソーシアム」として実施しました。
令和6年度は、前年度施設利用者数(54,410人)を更に超える状況となりました。

	施設利用者数	前年同月比
令和6年度	61,108人	111%

(1) 3施設連携事業

青少年科学センター・京エコロジーセンター・さすてな京都をつなぐシャトルバスを運行し、伏見区環境学習拠点3施設の連携として以下を実施しました。

期間	名 称	内 容
8月	「第27回国際昆虫学会議」のPRを兼ねたイベントの開催	国立京都国際会館において開催された「第27回国際昆虫学会議」の冠を付けたイベントを、3施設の連携で開催。メインの会場は京エコロジーセンター。 ①昆虫観察・昆虫標本づくり(8/21) ②アリジゴクの生態(8/22) ※きょうと生物多様性センターとも連携実施
7/16～8/19 12/16～1/15	4施設活動紹介パネル展示	イズミヤ六地藏店にて、3施設に加え、衛生環境研究所の紹介パネルを展示
12月～1月	「伝統産業・伝統工芸」をテーマにしたイベントの開催	京都の伝統産業・伝統工芸に触れ、物を大切に使い切るしまつのこころや、自然と共生する暮らしについて学ぶ体験講座(施設ごとに内容が異なる)を、(公財)京都伝統産業交流センターとの共催で開催。 ①京エコロジーセンター ・ハンカチの絞り染め(1/26) ②青少年科学センター ・京こまの制作(12/21) ③さすてな京都 ・和ろうそくの絵付け(11/30) ・竹かごの制作(1/18)
2/2	科博連サイエンスフェスティバル	京エコロジーセンター及び青少年科学センターが会場となり、科博連(京都市科学系博物館等連絡協議会)構成メンバー(さすてな京都も含む)がブース出展。

(2) 5周年記念プログラム

期間	名称	内容
10/17～1/13	株式会社Mizkan Holdings「おいしい！ たのしい！ やさしい！ ミツカン鍋のススメ」	創業220年ミツカンと5周年さすてな京都とのコラボ企画展。 期間中の総来場者数：8,718名 クイズラリー参加者：1,105組・3,860名
10/5, 12, 13, 14	京都環境事業協同組合「みんなでチャレンジ！ SDGs クイズラリー」	さすてな京都とSDGsを学ぶクイズラリー
10/6	島津製作所「分析装置で調べて宝物を探そう！」	小型電子部品に使われている金（Au）を探し当てましょう！ 部品回収の必要性を実感できるイベントです。
11/4	海のお仕事～世界の海の冒険家～	「海」の不思議と魅力を聞いてみよう。そしてお仕事から見える環境問題を知って、みんなの未来と地球の未来と一緒に考えてみましょう。
11/10	宇宙のお仕事～星の誕生のヒミツにせまる～	「宇宙」の不思議と魅力を聞いてみよう。そしてお仕事から見える環境問題を知って、みんなの未来と地球の未来と一緒に考えてみましょう。
11/16	京都市埋蔵文化財研究所「淀城下町、桂川の護岸と川船の発見」	長岡京跡・淀水垂大下津町遺跡の発掘調査で出土した川船の特徴や、護岸整備の背景など、発掘調査でわかった成果について紹介します。
11/17	カナデビア株式会社「ドローンで見学！ 焼却施設をのぞいてみよう」	ドローンで撮影した工場内部の映像を用いて、普段は見る事ができない特別な工場見学にご招待！ さらに、煙突ではドローンのデモ飛行を行い、地上や展望台から、ドローンの動きを観察します。
11/23	タカラサプライコミュニケーションズ株式会社「共創アート「京都ふおんと」を使って、工作をしてみよう！」	障がい者アートによるパターンやフォント「京都ふおんと」を使って、地域の情報発信や交流に活かす取り組みです。リースやバッジなどの工作をして、ユーモラスなアートの世界と一緒に楽しみましょう！
11/24	京都府地球温暖化防止活動推進センター「電気自動車試乗会EV大集合！」	いろいろな種類のEV車がさすてな京都に集合！ 実際にEV車を自分で運転して、乗り比べ体験してみませんか？
12/1	株式会社村田製作所「電気エネルギーを考えよう！」	コンデンサや圧電スピーカーを使って、電気をつくる・ためる・つかう実験をします。電気の大切さや今問題視されている地球温暖化を学びましょう！
12/21	武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園「観察と実験でSDGsを学ぼう！」	薬用植物や「たい肥」の観察、「発酵」の実験などを通して、様々なSDGsを学びます。
12/22-23	ローム株式会社「電気を上手につかう！？ 回路と節電のヒミツにせまろう！」	電子部品を組み合わせた回路を作って、電気を上手に使う方法をパズルのように工夫・実験しながら考えよう！

【2】国際事業 ※ JICA 委託事業

草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」(1202)

国際協力機構（JICA）から受託を受け、マレーシアにおいてJICA草の根技術協力事業「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト（地域活性化特別枠）」を2021年10月から実施してきました。プロジェクト目標である「マレーシア国ジョホールバル市に新設されるエコセンターが、市を中心に周辺地域（イスカンダル開発地域及びジョホール州）において、低炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動のための拠点として、自律的に機能できるようになる。」に沿い、京エコロジーセンターをモデルにジョホールバル市のスルタンイスマイル図書館内に2023年2月に開設された環境教育・環境保全活動のための拠点施設「Sudut Lestari スダット レスタリ（マレー語でサステナブルコーナーの意味。以下エコセンター）」は、開館から事業期間終了までの約2年間で来館者約20,000名、訪問学校数約250校を記録し、エコセンターで活動する市民ボランティアは76名となりました。いずれも計画（プロジェクト目標値：年間来館者数3000名、年間訪問学校数65校、プロジェクト終了時のボランティア数50名）以上の成果を達成することができました。

11月5日にジョホールバル市庁舎にて最終成果報告会「LESTARI SYMPOSIUM 2024」を開催しました。市民、エコセンターで活動する市民ボランティア、行政職員、民間企業、NPOなど国内外の関係者合わせて約200名が参加し、エコセンターの運営状況やボランティアの活動状況について報告が行われました。また、12月15日にはキャンパスプラザ京都においてプロジェクトの最終成果報告会を開催し、京都市周辺から市民約60名が参加しました。当日は来館者受入やプログラム開発等エコセンターでの実務に従事する専門職員によるプロジェクト成果報告のほか、本プロジェクト内で実施したジョホールバル市以外のASEAN自治体職員を代表しマレーシアTawau市議会の職員による環境活動計画の発表が行われました（京都での報告会の様子は12月16日付けで京都新聞、読売新聞の朝刊に掲載）。

本事業の契約は、2025年1月15日に終了しました。そして、2025年2月21日付で、事業完了届（事業完了・評価報告書）が受理され、正式に事業完了となりました。その後、JICAのウェブサイトにて事業評価報告書が一般公開されました。本事業の成果は、主に以下の3つになります。

- ジョホールバル市の公立図書館内に環境学習施設が開設されました。
- 同施設は、低炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動のための拠点として、自律的に機能しています。
- 「京都モデル」がマレーシアを含む東南アジアの地域において、環境学習施設を中心とした環境保全活動の推進のために活用されています。

※ 「京都モデル」とは、支援団体や活動のための拠点施設との連携によって、学校や地域社会でより質の高い環境教育や環境保全活動を行うことを目的としています。

【3】地域環境活動支援事業

1 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業(1301)

※京都市委託事業

京エコロジーセンターに「エコ学区サポートセンター」を開設し（平日9時～17時）、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した222学区及び、学区以外のコミュニティ（自治会、ボランティア団体及び大学サークル等）に対し、エコ活動の現場取材、地域へ直接アプローチを行うなど、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。

（1）学習会

学区と学区以外のコミュニティを対象に公募し、「2050年CO₂ゼロ どこでもトーク」を実施しました。（全30件：学区15件・他団体15件）。

どこでもトークの支援上限に達した後に学区、一般団体から学習会の実施相談に対応するため、エコセンの館外事業への誘導や他団体の講師への引き継ぎ対応を行いました。（学区13件・学区以外の団体5件）

学習会実施一覧

日付	タイトル	講師	学区/団体	参加者
6/22	地球温暖化は将来どうなる？～生態学者の描く未来予想図～	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	生活クラブ京都 エル・コープ	34 人
7/1	古着の回収と 地域内循環の仕組み	岩崎 仁志 氏 (株式会社 ヒューマンフォーラム)	大谷大学 人間学 2-9	115 人
7/8	伝統産業と サステナビリティ	木原 浩貴 氏 (たんたん エナジー株式会社)	立命館大学学友 会登録団体 natuRable	25 人
7/17	カードゲーム「脱炭素まち づくりカレッジ」	児玉 廉 氏 (脱炭素まちづくり ファシリテーター)	京都市立西京高 等学校附属中学 校	19 人
7/27	上鳥羽夏の夜市（楽しく学 ぼう！こども発電所）	エコ学区 サポートセンター	上鳥羽学区	143 人
7/28	いまくまの夏まつり（楽し く学ぼう！こども発電所）	エコ学区 サポートセンター	今熊野学区	209 人
8/3	中立ふれあい広場 (新町っこ探究団×エコ学 区サポートセンターの エコ体験ブース)	京エコロジーセンター 環境ボランティア	中立学区	103 人
8/3	竹間夏まつり	エコ学区 サポートセンター	竹間学区	236 人

8/4	久我の杜学区民ひろば (こどもコーナー)	エコ学区 サポートセンター	久我の杜学区	9 人
8/24	本能こどもまつり	エコ学区 サポートセンター	本能学区	127 人
8/27	伝統産業と サステナビリティ	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	京都市立美術 工芸高等学校	34 人
9/8	きれいな地球と共に、 漆を次世代へ	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	NPO 法人京都 カラスマ大学	22 人
10/10	「子どもたちのエコ活動」 って？みんなで、考えま しょう！	エコ学区 サポートセンター	下京区はぐくみ ネットワーク 実行委員会	19 人
10/19	ロケットストーブの作製と 体験のワークショップ	北川完二氏（上鳥羽エコ まちくらぶ） 高橋清司氏（京都市上鳥 羽北部いきいき市民活動 センター）	立誠学区	42 人
10/23	食・健康・環境の つながりを知ろう！	エコ学区 サポートセンター	ふれあい オレンジカフェ ももやま	7 人
10/28	人はなぜ自然が必要なのか ～進化生物学から見た 人間とは何か～	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	京都橘大学 経済学部 平賀緑ゼミ	28 人
11/9	エコキッズになろう！	エコ学区 サポートセンター	正親小学校 PTA	141 人
11/10	さかのえがおワールド (楽しく学ぼう！ こどもエコ縁日)	エコ学区 サポートセンター	さかの えがおワールド 運営委員会	410 人
11/16	コーヒーかすが キノコに変身？ 循環型栽培をめざして	倉橋 大希 氏 (RE:ARTH 代表)	梅屋学区	5 人
11/17	生ごみコンポストの 体験講習会	宮本 優以 氏 (株式会社夢びと)	高松橋ひろば づくりの会	26 人
11/23	ロケットストーブの作製と 体験のワークショップ	石原智司氏、高橋清司氏 (京都市上鳥羽北部いき いき市民活動センター) 北川完二氏（上鳥羽エコ まちくらぶ）	川岡学区	115 人
11/27	手軽&おしゃれなコンポ ストで生ごみゼロ生活	宮本 優以 氏 (株式会社夢びと)	京都生協 北ブロック	18 人

11/30	秋のきのこの会	倉橋 大希 氏 (RE:ARTH 代表)	京都友の会	28 人
12/7	エコと防災～発電体験と 防災エコグッズコーナー～	エコ学区 サポートセンター	川岡東学区	78 人
12/8	大將軍ふれあい冬まつり	エコ学区 サポートセンター	大將軍学区	100 人
12/18	未来に残したい日本の宝物 漆（うるし）	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	フリースクール わく星学校	24 人
1/19	エコキッズになろう！（あ そびながらエコを学ぼう）	エコ学区 サポートセンター	滋野学区	219 人
1/19	科学者の描く未来予想図～ 私たちと地球の未来は、私 たちの手で変えていくこと ができる～	伊勢 武史 氏 (京都大学准教授)	特定非営利活動 法人 グラス・ ルーツ	32 人
1/20	コーヒーかすが キノコに変身？ 循環型栽培をめざして	倉橋 大希 氏 (RE:ARTH 代表)	大藪小学校 PTA	23 人
2/8	紫竹エコフェスタ	エコ学区 サポートセンター	紫竹学区	144 人
合計				2535 人

（２） その他支援

自発的にエコ活動に取り組んでいるエコ学区（桃山・豊園・中立・久我の杜・上高野等）を中心に、地域性を活かした独自のエコ活動、地域の意欲に応じた支援を行いました。また、令和6年度の京都環境賞についての趣旨説明を行い、複数の学区が応募された結果、エコ学区活動内容が評価され、エコ学区賞1団体（中立エコ生活推進会議）、奨励賞2団体（竹間自治連合会・豊園エコ推進委員会）が表彰されています。

令和6年度は、これまで実施していた受動的な学びを体験や参加者同士の意見交換などを積極的に導入し、能動的な学びに移行する工夫をしてきました。学区で実施するブース出展に関しても子どもたちが主体的に実施側に回って、参加者にレクチャーしたり、エコな活動のアイデアを出して、周りに広めるというような「エコキッズになろう！」という、地域のエコな担い手育成もテスト的に始めています。このようにエコ学区サポートセンターの事業においては、これまで周知や啓発といった段階を経て、行動や活動といった次のステップになるように意識をもって、企画や活動を実施し、ライフスタイルの転換につなげるように工夫しました。

また、エコ防災や古着の循環など、地域のニーズに合わせた学習会やブース出展も企画しています。活動を地道に続けている一方で発信に力を入れる余裕がない学区やグループには、発表するための媒体（パネルやチラシ、冊子など）の作成を促し、サポートし、実際に区役所や京エコロジーセンターでの展示をすることで、市民のモチベーションアップにも貢献しています。

2 京都脱炭素ライフスタイル推進に係るプロジェクト創出及び実証支援等業務 ※京都市委託事業

(1) 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援事業(1304)

2050京創ミーティングの下に、「消費行動」「住まい」「つながり」の3つのテーマ別WGを結成しています。参画するメンバーがビジョン、目標・指標及びアクションリストに基づき、市民がライフスタイルをよりCO2の排出が少ないものに転換していくための仕掛け(プロジェクト)を議論し、4年度から継続して事業者主導のプロジェクトの創出・実証支援等を行いました。(全18件・消費行動8件、住まい6件、つながり6件)

消費行動		住まい		つながり	
1	使用済衣服の回収&循環プロジェクト 「RELEASE⇔CATCH」	○	1	つながりを感じられる住まいづくり(京都の冬は寒くないプロジェクト)	○
2	四条通をサステナブルのシンボルへ	○	2	賃貸住宅紹介時の省エネ・再エネ性能の見える化	○
3	里山や地域循環について知る機会の創出	○	3	実証実験によるデータ収集・分析と発信	○
4	レスキュー野菜の地域での販売	○	4	断熱性能を体験できる場づくり	○
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施	○	5	住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み	○
6	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化	○	6	中古家電・家具2Rプラットフォーム	○
7	環境負荷の見える化	○			
8	Doプロジェクト (Do Repairs, Do Refill)				
計 18 件 (○ : 実証中、又は実証終了したプロジェクト)					

令和6年度は、以下の7件がプロジェクト実証支援期間を終了しました。

- ・【消WG1】使用衣服の回収&循環プロジェクト
- ・【消WG3】里山や地域循環について知る機会の創出
- ・【消WG4】レスキュー野菜の地域での販売
- ・【住WG1】つながりを感じられる住まいづくり
- ・【住WG3】実証実験によるデータ収集・分析と発信
- ・【繋WG1】京都脱炭素ツーリズムのHUB創設
- ・【繋WG3】地域での生ごみ堆肥の活用推進

各プロジェクトのこれまでの成果をとりまとめ、発信しています。

◇成果の発信等

使用済衣服に関するCO2削減量は、①使用済衣服の廃棄に係るCO2の削減量、②新規衣服の製造に係るCO2の削減量(1着0.25kgとして計算)の合計

開催日	概要	名称(場所)	備考
11/30	使用衣服の回収&循環プロジェクト／京都脱炭素ツーリズムのHUB創設の成果発信／使用済衣服回収・¥0 マーケット	北区エコイベント (北区役所)	CO2 削減量 7,427 (kg-CO2)

2 月	京創ミーティング・プロジェクトの 成果発信	京都市役所地下通路 展示スペース	—
2/14- 15	京創ミーティング・プロジェクトの 成果発信と使用済衣服回収	京都マラソン おこしやす広場 (みやこめっせ)	C02 削減量 152 (kg-C02)

(2) 市民ワークショップ等の開催(1305)

市民に、脱炭素ライフスタイルビジョン、アクション及びプロジェクトについて、学び、自分ごととして考えていただくためのワークショップや、学生に対して、プロジェクトを新たなビジネスとして考えていただくアイデアソンを開催し、脱炭素ライフスタイルへの意識変革を促すとともに、市民の主体的な関わりを誘発しました。

◇市民ワークショップ

開催日	概要	場所	参加人数
7/12	<京都大学の大学生対象> 脱炭素ライフスタイルの転換を考えるワ ークショップ	京都大学	31 人
10/1 11/19	<京都橘大学の大学生対象> DO YOU KYOTO? 2050 アイデアソン	京都橘大学	18 人
12/7	<市民対象> 伏見連続講座「菜食と気候変動」	NAYAMACHI DONUTS 君に、 あげる	11 人
2/1	<市民対象> 洛西の脱炭素アクションについて考える ワークショップ	ラクセーヌ専門 店	28 人
2/10	<中小企業対象> 中小企業脱炭素経営セミナー	TRAFFIC	18 人
2/20	<事業者と一般対象> つなげよう、ごみを生まない「知恵」	QUESTION	38 人

3 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業(1307) ※京都市委託事業

市民の家庭での太陽光発電設備で生み出される環境価値（C02 削減量）を取りまとめ、国の J-クレジット制度を利用してクレジット化したうえで企業等に売却し、その収益を市内加盟店で利用できる地域ポイントとして各家庭に還元する事業を実施しました。

令和 6 年度は、京都再エネクラブの入会者が 247 名で、合計 762 名となりました。その内、令和 5 年度までの会員の C02 削減量 458t-C02 をクレジット化し、4 社に購入（1,943 千円）していただき、会員に還元しました。

太陽光発電と蓄電池（V2H 含む）の同時設置者への導入支援ポイントは、令和 6 年度に 201 名に付与し、令和 5 年度の 154 名から増加しています。また、令和 6 年度から既存の太陽光発電に蓄電池（V2H 含む）を追加設置した方 30 名にも導入支援ポイントを付与しました。

4 京都0円ソーラープラットフォーム

(1) 住宅向け0円ソーラー(1503) ※京都府委託事業

(2) 太陽光発電プラットフォーム事業(1504) ※京都市委託事業

引き続き、京都府と京都市が共通のプラットフォームとして設置している「京都0円ソーラープラットフォーム」の運営を通じ、初期費用ゼロで太陽光発電設備を導入する「0円ソーラー」を多くの方に安心して利用してもらうための取組を実施しました。その結果、「京都0円ソーラープラットフォーム」経由で120件の見積依頼があり、30件の契約が成立しました。

5 ごみ減量推進事業 ※京都市委託事業

(1) 普及啓発(1621)

ア 情報誌「ごみ日和」4回発行(100～104号)

100号発行Yearとして、酒井伸一先生、白井貴子氏、お茶屋しげ森の舞妓さん、京都市動物園園長に表紙を飾ってもらいました。表紙制作での嵯峨美術大との連携は6年となり、その年度ごとに工夫が凝らされ、話題にもらえることが多くなりました。

イ ごみ減量啓発イベント

衣類ロスの現状を伝え、自分たちができることを考えてもらいながらのさをり織り体験は、めぐるくん推進友の会の皆さんの活躍で子どもにも大人にも大好評でした。

ウ ごみ減量実践講座の開催

企業向け3回(PVパネルリサイクル施設見学会、CE講座、リユース講座)、市民向け2回(スーパーでのプラ調査報告及び地域活動、蒸し煮で食ロス削減)、こども向け4回(児童館向けほか)を実施しました。また、市と連携し、イオン京都桂川でのイベントに、市民団体等8団体と協働で出展しました。

※週刊循環経済新聞掲載／企業向け講座(1/13号、2/17号)

エ 会員数

538団体(入会 14団体 退会 3団体) ※前年度末 527団体

(2) ごみ減量事業化(1622)

ア 再生紙推進(めぐれっと)事業

コロナ禍により一時休止していましたが、一部再開しました。

イ 堆肥化事業

生ごみコンポスト取組支援を行いました。また、落ち葉堆肥化の啓発とともに、作業が軽減できる資材「タヒロンガーデニングバッグ」を紹介・斡旋しました。

ウ 端材活用事業

事業者から提供された端材を、こどもの創作あそびに活用するための協力・支援を行いました。また、講座の一環として、児童館でのハイザイアートワークショップを14回実施しました。(内1回は児童館指導者向けに行いました)

(3) 地域活動(1623)

ア 行政区単位での地域ごみ減会議総会及び活動支援

※ 各行政区のイベントに地域ごみ減の参加を市エコまちステーションと協働で支援しました。中でも、伏見区では地域ごみ減が主催で環境イベント「エコと伏見2024」を開催しました。また、左京区でも地域ごみ減主催で「2025左京ふれあいecoフェスタ」～もったいないを大切に～3月8日に開催しました。

イ 新規地域ごみ減立上げ支援

伏見区	池田学区地域ごみ減量推進会議	4月入会
左京区	岩倉南ごみ減量推進会議	5月入会
西京区	桂坂地域ごみ減量推進会議	3月入会

※ 令和7年3月末現在、202団体設立（222学区内、195学区設立）

(4) 2R型エコタウン構築事業(1624)

ア 2Rひとづくり事業

市民・学生へ主にプラスチック製容器包装削減に向けた2R情報発信及び人材育成を行いました。

- ① 地域ごみ減、市民団体への学習会（中立・朱五 各地域ごみ減）
- ② 市内大学への出向講義の実施（京都外大、京都光華女子大）

イ 2R文化発信事業

京都市内スーパーマーケット環境調査の呼びかけと調査を行いました。

ウ 2Rサービス紹介事業

修理店、リユース店を紹介するウェブサイト「もっぺん」の啓発ポスター掲示（6イベント）や、登録店舗がイベント等へ出展する「もっぺん出張所」をイオンでのイベント内で実施しました。

エコロジーセンター備品のソファのリペアを登録店舗に依頼しました。今後、展示や広報に活かしていく予定です。

【4】講師派遣事業

講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）(1401)

セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。

依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しました。

実施日	派遣事業名	主催
6/28	2024年度 JICA 課題別研修「エネルギーの高効率利用と省エネの推進（C）」	一般財団法人 省エネルギーセンター
7/14	東梅逕学区「エコ研修会」	東梅逕自治連合会東梅逕ごみ減量推進会議
9/4	2024年度 JICA 課題別研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理（A）」	一般財団法人日本環境衛生センター
11/27	2024年度 JICA 国別研修「ブラジル・海洋ごみ対策のための廃棄物管理」	一般財団法人日本環境衛生センター
12/21	レッツ・エコチャレンジ	豊園エコ学区推進委員会

3/21	2024 年エリートキャンプ	NPO 法人全国少年少女レスリング連盟
------	----------------	---------------------

【5】調査・研究・開発・発信事業

1 脱炭素の見える化(1309) ※地球環境基金助成金事業

市民が脱炭素ライフスタイルを具体的にイメージし、その行動がどれくらい効果を発揮するのを実感できるようにするため、地球環境基金助成金（令和4年度から6年度）を活用し、市民行動の実態やどのような要因が行動変容に影響を及ぼすか調査しました。さらに、脱炭素ライフスタイルに関する情報等の発信をSNSやPR TIMES等の多様な手段で行いました。

令和6年度は、脱炭素ライフスタイルに関する体験型イベントやツアーを実施し、これらの成果を今後も活用できるよう動画を作成した他、令和5年度に実施したアンケート調査について日本環境教育学会で発表し、令和6年度も市民1000名を対象としたアンケートを実施しました。

2 脱炭素先行地域・グリーン人材育成支援事業(1310) ※自主事業

京都市では、環境省が進める「脱炭素先行地域」の選定を受け、伏見エリアを中心に、地域コミュニティの核である文化遺産、商店街、住まい等において、脱炭素が、地域コミュニティの活性など、地域課題の解決にも結び付く地域脱炭素モデルの創出に向けた取り組みを進めています。

当センターは、市内大学とともにグリーン人材育成拠点に指定されており、京都市が設置する「グリーン人材育成ワーキンググループ」の一員として伏見3商店街（大手筋・納屋町・竜馬通り）でのグリーン人材育成を検討しました。

令和6年度は、龍谷大学が開催するサステナビリティDAYへの出展、人材育成講座への参画を行うなど、先行地域の人材育成に貢献するとともに、京創ミーティングの取組と連携し、具体的な成果につながるよう取組を進めてまいりました。

また、龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科の坂本准教授からの依頼を受け、伏見3商店街等をフィールドとする「京都伏見まちづくりプロジェクト」実習を受入れ、商店街イベントや地域のおまつりの企画や書類作成、イベントの運営実施、関係者との連絡や折衝等について、実地で学ぶ場を創りました。京エコロジーセンター「大学生の環境活動支援」として、成果の発信と他学生団体との交流会を支援しました。

3 バイオマス有効活用推進事業(1514) ※自主事業

この事業は、未利用のバイオマス（森林保全活動で出る除間伐材や竹林整備で得られる竹）を原料としたバイオ炭づくり体験や、そのバイオ炭を使った環境配慮型農業体験など、環境学習プログラムを開発し、企業から協賛金（協会が主催者の場合）や委託料（企業が主催者で協会が運営代行）を得るものです。

事業化にあたっては、炭化炉を選定し（スミヤケールN200に決定）、法規制（廃棄物処理法）への対応に目途を立てました（京都市廃棄物指導課に確認）。また、複数の環境学習プログラムの企画立案を進めており、その第1弾として、2025年3月に「花炭づ

くり」ワークショップを開催しました。平行して、外部協力者（バイオ炭づくりやバイオ炭を使った環境配慮型農業体験など）の獲得を進めています。

4 きょうと環境活動応援事業(1521) ※自主事業

ごみ減量×福祉×地域緑化をつなげるプロジェクト※協賛金事業

廃棄消防ホースで作ったプランター34個を下京区内の中学校や高齢者福祉施設など10か所に設置しました。

5 ごみ減量推進事業 会費等を活用した自主事業(1625) ※自主事業

記念事業の実施に向けて検討を行いました。

6 京のアジェンダ21フォーラム事業 ※自主事業

(1) 観光のエコ化の推進(1704)

昨年度に引き続き、祇園祭ごみゼロ大作戦の中で、祇園祭山鉦の駒形提灯の電源として、再エネ由来の電力契約を行っている近隣の6店舗で充電したポータブル電源を使用する取組を行い、前祭、後祭それぞれ1つずつの計2つの山鉦で実現しました。また、その際にポータブル電源を提供していただいたメーカーと協力し、梅小路公園「朱雀の庭」での紅葉ライトアップの電源の一部として、太陽光パネルとポータブル電源を使用しました。

(2) 会費等を活用した自主事業(1708)

KES登録事業所が京都で希少となった植物を育成するなどの生物多様性保全活動をネットワークとして進める「KESエコロジカルネットワーク」の事務局を担いました。

また、協会として参画している京都未来門プロジェクトにおいて、大阪大学と協働でフューチャーデザインワークショップを実施しました。

(3) わきの山の利活用(1709) ※夏原グラント助成金事業

京都市立明徳小学校の学校林である「わきの山」において、2011年より京のアジェンダ21フォーラム京都環境コミュニティ活動（KESC）として、明徳小学校、明徳小学校学校運営協議会、および地域企業等を中心に里山保全活動を行ってきました。

令和4年度より夏原グラント助成金を活用し、令和5年度からはきょうと生物多様性センターと協力し、わきの山のゾーニングに基づく作業を進めながら、学校、地域住民、周辺企業等へのヒアリングを行うことで、わきの山の持続可能な里山利活用の形を検討しました。

7 調査・研究・開発・発信(1501) ※自主事業

(1) 学会等での発表、研究会・実行委員会等への参画

実施日	事業名	主催
8/29～ 9/1	日本環境教育学会第35回年次大会 「“参加する”企画展示による環境学習効果の発現」 「京都市における脱炭素ライフスタイルを広げる活動の実践と評価」	日本環境教育学会
通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員	日本ボランティアコーディネーター協会

(2) サーキュラーエコノミーへ向けたエコシステム構築支援

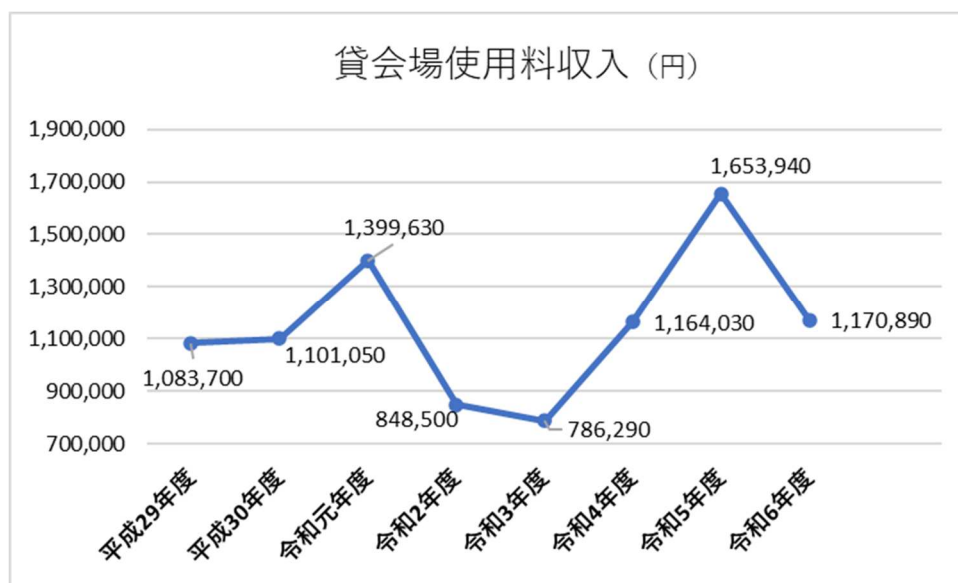
一般社団法人 Impact Hub Kyoto と協働で、多様なステークホルダーとの開かれた対話を行い、具体的なサーキュラーエコノミーの実現像を共創する場をつくるためのイベントを開催しました。

また、当日参加者から出たアイデアや意見を活かし、一般社団法人 Impact Hub Kyoto が作成した「サーキュラーエコノミー導入支援ツール」日本語版の作成に協力しました。

開催日	概要	場所
11/29	サーキュラーエコノミーが創る京都の未来 ～外国人観光客が生む資源～	Impact Hub Kyoto
1/16	サーキュラーエコノミーに向けての実践とエコシステム構築	Impact Hub Kyoto

II 収益事業

5101 貸会場運営事業



Ⅲ その他事業（相互扶助等事業）

6101 機密書類リサイクル事業

- ・ 企業向け講座や啓発イベント等で、利用を呼びかけました。
- ・ 禁忌品混入防止、過積載防止について、引き続き啓発を行いました。

2024 年度回収実績

(kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
63,270	85,650	73,410	72,660	57,370	71,710

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
65,660	62,820	65,300	56,740	61,110	62,830	798,530

（参考）前年同月合計 850,140 kg （前年同月比 93.9%）